

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	938	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	個別事業 消防水利の整備・維持管理	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	消防本部・警防課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	5人 (換算人数) 0.25人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 19,560千円 (うち人件費 2,175千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	消防活動に重要な施設である消防水利の効果的な整備及び維持管理を行うことにより、迅速で効果的な消防活動体制を整え、火災等から被害の軽減を図る。					
(3) 事業内容	内容	消防水利の基準に基づき、計画的に消防水利の整備を図るとともに、既設消防水利の維持管理を行う。そのため、経費負担協定に基づき水道事業者と協議を行い、計画的に消防水利の整備を実施、既設消防水利の改良、修繕を実施する。			当該年度執行計画	前年10月：予算編成に合わせ、水道局事業計画に基づき、整備箇所及び改良箇所等の協議を実施。 4月：防火水栓賠償責任保険への加入 12月：所有者に対する消防水利用地賃貸借料の支払い 3月：水道局への経費負担金の支払い 消防水栓標示焼付けの実施 随時：不備消防水利の修繕、消防水利データの管理					
		当該年度活動結果指標	消防水利新設数	単位	件	想定値	8		実績値		
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	消防水利の適正管理と計画的な整備を図る。市ホームページ上での消防水利情報の提供。				直接	消防水利の充足率		%	72	73	
令和3年度	消防水利の適正管理と計画的な整備を図る。				直接	消防水利の充足率		%		74	
令和4年度	消防水利の適正管理と計画的な整備を図る。				直接	消防水利の充足率		%		75	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		消火栓維持管理負担金	14,000	消火栓維持管理負担金	14,000	消火栓維持管理負担金	14,000	消火栓維持管理負担金	14,000	消火栓維持管理負担金	14,000
		消火栓表示焼付け	120	消火栓表示焼付け	130	消火栓表示焼付け	130	消火栓表示焼付け	130	消火栓表示焼付け	130
		防火水栓修繕	200	防火水栓修繕	200	防火水栓修繕	200	防火水栓修繕	200	防火水栓修繕	200
施設賠償責任保険 (防火水栓)	18	施設賠償責任保険 (防火水栓)	19	施設賠償責任保険 (防火水栓)	19	施設賠償責任保険 (防火水栓)	19	施設賠償責任保険 (防火水栓)	19		
消防施設土地賃借料	1,357	消防施設土地賃借料	1,332	消防施設土地賃借料	1,332	消防施設土地賃借料	1,332	消防施設土地賃借料	1,332		
通信運搬費	10	通信運搬費	10	通信運搬費	10	通信運搬費	10	通信運搬費	10		
防火水栓解体工事費	1,828	防火水栓解体工事費	1,694	防火水栓解体工事費	1,694	防火水栓解体工事費	1,694	防火水栓解体工事費	1,694		
予算(決算)額	合計		17,533	合計		17,385	合計		17,385	合計	17,385
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源	17,533		17,385		17,385		17,385		17,385	
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0		0		0		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.23		0.25		0.23		0.23		0.23	
	正職員人件費	2,024		2,175		2,001		2,001		2,001	
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		0	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	19,557		19,560		19,386		19,386		19,386		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	2,444.63千円/件		2,445千円/件								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	消火活動において最も重要な消防水利を確実に確保し、常に良好な状態に維持管理する必要があるため。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因＞				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		＜その他の内容＞		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 ＜その他の内容＞		＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 ＜その他の内容＞ 該当なし				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由/期待以下であった原因＞		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	環境に配慮して事業を進めているか？		○①自然環境を生かしている ○②生き物と共存している ○③手賀沼を意識している ○④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 ＜その他の内容＞ 該当なし				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	72	73	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	＜目標を達成した理由/未達成となった原因＞		○要 ○不要
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	○①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞		○要 ○不要
	事業費削減率 (%)		＜削減の内容＞		＜超過理由等＞				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.37	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値 × 費用単位 / 事業費 ○②複数年度の指標：(目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費		実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	＜目標値以上となった理由/目標値以下であった原因＞	

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善案及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	939	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防団体制の強化・充実	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	消防本部・警防課			
	③事業主体	個別事業 消防団装備品等の整備及び維持管理	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	●市 ○その他 ()	⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.34人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初)	4,054千円 (うち人件費 2,958千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 70203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	消防団員の確保に取り組むとともに、市民の防火・防災意識を一層高めるため、消防団や女性防火クラブなどの関係機関と連携しながら、各種防火・防災訓練や住宅用火災警報器の設置促進などに努め、地域防災力の強化を図ります。			事業目的	消防団の活動装備品等の整備及び維持管理を行うことにより、消防団の活動を効率的なものにするとともに、安全管理を図ることにより市民の生命と財産を守るという目的に寄与するため。				
(3) 事業内容	内容	消防団の活動用装備品等の整備及び維持管理を行なう。			当該年度執行計画	1 消防団員に対する貸与品の貸与 2 貸与物品等の管理状況の確認 (随時)				
					当該年度活動結果指標	貸与品の貸与件数	単位	件	想定値	35
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	消防団員の貸与品貸与率の向上を図る。				直接	貸与品の貸与率 (貸与規則貸与物品の充足率)		%	80	85
令和3年度	消防団員の貸与品貸与率の向上を図る。				直接	貸与品の貸与率 (貸与規則貸与物品の充足率)		%		90
令和4年度	消防団員の貸与品貸与率の向上を図る。				直接	貸与品の貸与率 (貸与規則貸与物品の充足率)		%		95
(7) 事業実施上の課題と対応	貸与品を全て規定どおりに整備すること及び耐用年数内に更新を図っていくことが理想であるが、最低限活動に対し、安全管理の向上を目的とした貸与品等を優先的に、計画的に整備していくことで対応を図っていく。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			消耗品費 (貸与品用)	895		消耗品費 (貸与品用)	1,011		消耗品費 (貸与品用)	1,011
			備品修繕料	100		備品修繕料	85		備品修繕料	85
		予算(決算)額	合計	995	合計	1,096	合計	1,096	合計	1,096
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源		995		1,096		1,096		1,096	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.34		0.34		0.34		0.34		
	正職員人件費	2,992		2,958		2,958		2,958		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	3,987		4,054		4,054		4,054			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	113.91千円/件		115.83千円/件							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	我孫子市の防災体制の一翼を担う消防団員の安全管理用装備品及び活動用資機材の整備を図る必要があることから。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当無し				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	環境に配慮して事業を進めているか？		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当無し				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	80	85	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が低い値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	事業費削減率 (%)		<削減の内容>		<超過理由等>				○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	2.1	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (940), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes sub-sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (942), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (943), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	944	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	実施計画への位置づけ		○有 ●無		②部課名	消防本部・警防課		
	③事業主体	個別事業 開発行為の指導・協議	④対象地区		○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市					
	⑤事業期間	●市 ○その他 ()		⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.23人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	2,001千円 (うち人件費 2,001千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	開発行為に伴う消防施設の適正な設置を事業者と協議・指導することによって、消防体制の強化を図る。				
(3) 事業内容	内容	我孫子市開発行為に関する条例に基づいた指導基準により営利を目的とした事業主と開発行為又は、建築行為に関する消防施設の設置について協議し指導を行なう。 ・内容：事業者の申請により事前協議を実施する。 ：事業者の申請により協議書を締結する。 ：消防施設の中間検査・完成検査を実施する。			当該年度執行計画	・事業者との事前協議 ・事業者との協議書締結 ・協議書に基づいて消防施設中間検査 ・協議書に基づいて消防施設完成検査				
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)	開発行為に関する条例に基づき、指導基準に適合した消防施設の設置を事業者に指導し、安全で安心な住環境を維持する。			当該年度活動結果指標	開発協議の件数	単位	件	想定値	40
当該年度	達成目標 (期待する成果)	開発行為に関する条例に基づき、指導基準に適合した消防施設の設置を事業者に指導し、安全で安心な住環境を維持する。			指標種類	直接	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値
令和3年度	達成目標 (期待する成果)	開発行為に関する条例に基づき、指導基準に適合した消防施設の設置を事業者に指導し、安全で安心な住環境を維持する。			指標種類	直接	適正に設置された消防施設の整備率	%	100	100
令和4年度	達成目標 (期待する成果)	開発行為に関する条例に基づき、指導基準に適合した消防施設の設置を事業者に指導し、安全で安心な住環境を維持する。			指標種類	直接	適正に設置された消防施設の整備率	%	100	100
(7) 事業実施上の課題と対応	課題	消防水利設置不能地区への開発及び建築行為申請に対して、指導方法について業者への不利益を最小限に抑えるための対策が必要であり、消防設備の追加設置等による対応について、予防課との検討を進める必要がある。			代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		開発行為・建築行為等に伴う消防水利等設置指導	0	開発行為・建築行為等に伴う消防水利等設置指導	0		開発行為・建築行為等に伴う消防水利等設置指導	0	開発行為・建築行為等に伴う消防水利等設置指導	0
		合計	0	合計	0		合計	0	合計	0
		予算(決算)額	0	予算(決算)額	0		予算(決算)額	0	予算(決算)額	0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源		0	0		0	0		0	0
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.23		0.23		0.23		0.23		
	正職員人件費	2,024		2,001		2,001		2,001		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,024		2,001		2,001		2,001		
	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	50.6千円/件		50.03千円/件						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	我孫子市開発行為に関する条例に基づく、消防の基準により災害が発生した場合の消防隊の防備体制を確立させるために必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	環境に配慮して事業を進めているか？		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	削減の内容		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	2,001	23	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他		<超過理由等>				○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	5	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (945), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a row for 現状どおり推進 and a row for 評価コメント.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (949), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Contains multiple rows for different evaluation criteria like '必要性', '参加・協働の工夫', '環境への配慮', and '効率性'.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns for 評価 and 改善策及び展開方向. Includes a '評価コメント' field.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (951), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (952), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (953), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価, 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (954), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Footer table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (955), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a progress status legend and a space for comments and improvement strategies.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (957), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (958), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a row for '○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)'.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	960	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防団体制の強化・充実	実施計画への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		②部課名	消防本部・警防課					
	③事業主体	個別事業 消防団車両等の維持管理事務	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市								
	⑤事業期間	●市 ○その他 ()		⑥担当職員数	4人 (換算人数) 0.2人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	当(初)	4,380千円 (うち人件費 1,740千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
(2) 目的	施策目的・展開方向	消防団員の確保に取り組むとともに、市民の防火・防災意識を一層高めるため、消防団や女性防火クラブなどの関係機関と連携しながら、各種防火・防災訓練や住宅用火災警報器の設置促進などに努め、地域防災力の強化を図ります。			事業目的	火災等の災害に対応するため、消防団車両の維持管理を行う。						
(3) 事業内容	内容	緊急出動に備え車両を常に万全の状態とするため、法令に基づき6ヶ月、12ヶ月、24ヶ月点検を実施する。 また、老朽化した車両は故障頻度の上昇、修繕交換部品の生産終了により修理不能になるリスクもあり、災害対応に後手をとる可能性が高まるため消防団車両更新計画に基づいた車両更新を行い災害対応に万全を期する。			当該年度執行計画	総車両台数：21台 車検対象：8台 (ポンプ車1台・積載車7台) 6ヶ月点検対象：21台 (ポンプ車4台・積載車17台) 12ヶ月点検対象：13台 (ポンプ車3台・積載車10台) 修繕：随時						
		当該年度活動結果指標	車検・修繕件数	単位	件	想定値	10					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	消防団活動に万全を期するため、21ヶ分団の車両を整備する。				直接	車両整備率 (21台) (実施件数/必要件数)	%	100	100			
令和3年度	消防団活動に万全を期するため、21ヶ分団の車両を整備する。				直接	車両整備率 (21台) (実施件数/必要件数)	%		100			
令和4年度	消防団活動に万全を期するため、21ヶ分団の車両を整備する。				直接	車両整備率 (21台) (実施件数/必要件数)	%		100			
(7) 事業実施上の課題と対応	定期点検回数の増加により、出動不能期間が多くなるため、全車両を計画的に法定点検を行うことで、出動不能というリスクの分散を図っていく。				代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			(全21台のうち車検台数：10台)		(全21台のうち車検台数：8台)		(全21台のうち車検台数：13台)		(全21台のうち車検台数：8台)			
			需用費 1,819 役務費 1,057 公課費 401		需用費 1,443 役務費 983 公課費 214		需用費 1,819 役務費 1,057 公課費 401		需用費 1,443 役務費 983 公課費 214		* 消防団 (ポンプ車) 1台購入 * 自賠責保険 * 重量税 * リサイクル料・情報管理料 補助金 11,367,000円 (基準額) × 1/6 = 1,894,000円 起債 (22,000,000円 (車両購入費) - 1,894,000円 (補助金)) × 1.0 = 20,100,000円	
			3,277		2,640		3,277		24,673			
			国庫支出金 補助率 0%		国庫支出金 補助率 0%		国庫支出金 補助率 0%		国庫支出金 補助率 0%			
			県支出金 補助率 0%		県支出金 補助率 0%		県支出金 補助率 0%		県支出金 補助率 16.7%		1,894	
			起債 充当率 0%		起債 充当率 0%		起債 充当率 0%		起債 充当率 100%		20,100	
			一般財源 3,277		一般財源 2,640		一般財源 3,277		一般財源 2,679			
			その他の財源 <input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		その他の財源 <input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		その他の財源 <input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		その他の財源 <input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他			
(9) 財源内訳	予算(決算)額	合計	3,277	合計	2,640	合計	3,277	合計	24,673			
	国庫支出金 補助率 0%		0	国庫支出金 補助率 0%		0	国庫支出金 補助率 0%		0			
	県支出金 補助率 0%		0	県支出金 補助率 0%		0	県支出金 補助率 0%		1,894			
	起債 充当率 0%		0	起債 充当率 0%		0	起債 充当率 0%		20,100			
	一般財源		3,277	一般財源		2,640	一般財源		2,679			
	その他の財源 <input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	その他の財源 <input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	その他の財源 <input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0			
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.24	換算人数(人)		0.24	換算人数(人)		0.24			
	正職員人件費		2,112	正職員人件費		1,740	正職員人件費		2,088			
	嘱託職員報酬額		0	嘱託職員報酬額		0	嘱託職員報酬額		0			
	臨時職員賃金額		0	臨時職員賃金額		0	臨時職員賃金額		0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		5,389	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		4,380	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		5,365			
	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		538.9千円/件	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		438千円/件	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
評価項目		事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	緊急車両である消防団車両については、非常時対応が求められるため、常に整備に努めなければならない必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要		
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容			○要 ○不要	
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮			○要 ○不要	
	環境に配慮して事業を進めているか？		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成			○要 ○不要	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b) × 100	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要	
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託			実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要	
	事業費削減率(%)		<削減の内容>			<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			○要 ○不要
	2.28	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>			○要 ○不要

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1533), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 1672 課コード 1003 会計種別 一般会計 予算の種類 □政策 ■経常 □なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: ⑧施策の位置づけ, ⑨事業内容
(3) 事業内容: ⑨事業内容
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (2) 市が実施する必要性はあるか? (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) 目標設定は適切か? (6) 事業費削減の工夫をしているか? (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1674), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 目標達成.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1675), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Table for post-evaluation with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1772	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 救急・救助体制の強化	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	消防本部・警防課			
	③事業主体	個別事業 患者等搬送事業者の指導・認定	④対象地区		<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	●市 ○その他 ()		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.13人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,131千円 (うち人件費 1,131千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無			
(2) 目的	施策目的・展開方向	救急救助体制を強化・充実するため、人員の養成や装備の増強などに努めるとともに、広域での連携強化を図ります。また、市民自身の救命率を高めるため、応急手当や救命講習などの講習会を充実させていきます。さらに、緊急性のない救急出動については民間の活用を促すとともに、適切な救急要請を行うようPRに努めます。				事業目的	患者等搬送事業者を指導・認定することで、救急車の適正利用を推進し円滑な救急活動を図っていく。				
(3) 事業内容	内容	救急需要が増大する一方で、救急業務に該当しない事業も少なくないため、福祉等と密接に関連する分野の搬送、入院及び通院等のための指定した医療機関への搬送等、緊急性のない患者等の搬送においては、民間事業者による患者等搬送事業を有効に活用すべく、我孫子市患者等搬送事業者指導基準及び認定基準に適合した事業者を申請に基づき認定することにより、民間事業者の活用を促し救急出動件数の減数を図り、重篤な傷病者の救急要請に確実に対応する。				当該年度執行計画	年間をとおし我孫子市患者等搬送事業者指導基準及び認定基準に適合した事業者を申請に基づき認定する。				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	我孫子市患者等搬送事業者指導基準及び認定基準に適合した事業者を認定する。				指標種類	指標	単位	者	想定値	1
当該年度		我孫子市患者等搬送事業者指導基準及び認定基準に適合した事業者を認定する。				直接	患者等搬送事業者認定者数	者		実績値	1
令和3年度		我孫子市患者等搬送事業者指導基準及び認定基準に適合した事業者を認定する。				直接	患者等搬送事業者認定者数	者			2
令和4年度		我孫子市患者等搬送事業者指導基準及び認定基準に適合した事業者を認定する。				直接	患者等搬送事業者認定者数	者			2
(7) 事業実施上の課題と対応	適任者講習(応急手当普及員講習)が3日間であり、受講者が募集数に満たないと予測されるため事業所及び市民ボランティアへのPRを行い対応していく。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			事業者の指導及び認定			事業者の指導及び認定			事業者の指導及び認定		
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%		
	一般財源		0		0		0		0		
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.1		0.13		0.1		0.1			
	正職員人件費	880		1,131		870		870			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	880		1,131		870		870			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	440千円/者		1,131千円/者								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	患者等を搬送の対象とする限り、容体の急変、患者等間の疾病の感染等の発生も予測されるところであり、利用者の安全、利便を確保するためには消防機関との連携体制が必要である。消防機関が患者等搬送事業者を指導し、一定の基準に適合した事業者を認定する必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(者)	目標値(b)(者)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	1	2	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(者)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	削減の内容		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	1,131	△251	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		<超過理由等>				○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.18		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2117	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防団体制の強化・充実	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	消防本部・警防課			
	③事業主体	個別事業 消防団の装備の充実	④対象地区	○我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	●市 ○その他 ()		⑥担当職員数	5人 (換算人数) 0.4人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	6,252千円 (うち人件費 3,480千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無 部門別計画への位置づけ (計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	消防団員の確保に取り組むとともに、市民の防火・防災意識を一層高めるため、消防団や女性防火クラブなどの関係機関と連携しながら、各種防火・防災訓練や住宅用火災警報器の設置促進などに努め、地域防災力の強化を図ります。			事業目的	平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、地方公共団体は必要な措置を講ずることが義務付けられた。これを踏まえ、この法律の趣旨に基づく施策の着実な展開を図り消防団装備の充実強化を図る。				
(3) 事業内容	内容	消防団充実強化法が成立し消防団装備の基準が抜本的に見直されたことにより、消防団の加入促進、処遇改善事業と合わせ、国・県において講じられている財源を積極的に活用して消防団装備の充実強化を行う。なお、装備の基準において整備することが求められている装備のうち、特に必要と認められる未配備の装備から実施し、装備済み物品においても貸与規則等に基づく老朽更新を図る。			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> ・IP無線機の利用(通年) ・消防団雨衣の貸与 ・消防団用耐切削性手袋の整備 ・消防団用耐切削性保護衣の整備 				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	件	想定値	実績値
当該年度	各装備の効率的な配置を行い、効果的な運用を行うために各装備品の仕様の精査を行う。また、活用できる財源の確保に努める。			直接	配備率	%			0	100
令和3年度	装備の基準に基づき、計画的な新規整備及び老朽更新を実施する。			直接	配備率	%				100
令和4年度	装備の基準に基づき、計画的な新規整備及び老朽更新を実施する。			直接	配備率	%				100
(7) 事業実施上の課題と対応	消防団の装備において、すべての装備品を整えるのは期間及び費用を要するが、装備品の優先順位付けを行い、継続的な整備を進めていく。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		雨衣(補助対象1/6)2ヶ年計画2年目 11,655×120×1.08	1,511	消防団用耐切削性手袋 4,980×120×1.10 消防団用耐切削性保護衣 13,000×21×1.10 雨衣 補助金 1,314,720(事業費)×1/6(補助率) ≒219,000(耐切削性手袋分) 300,300(事業費)×1/6(補助率) ≒219,000	1,315	消防団用保安帽(240個) 5,400×240×1.10	1,426	エンジンカッター(7基) 189,800×7×1.10	1,461	
		補助金 1,510,488(事業費)×1/6(補助率) ≒251,000	1,070	IP無線機自治体BCPプラン (月額利用料83台分)	1,080	補助金 1,425,600(事業費)×1/6(補助率) ≒237,000	1,079	補助金 1,461,460(事業費)×1/6(補助率) ≒243,000	1,079	
		予算(決算)額	合計	2,581	合計	2,772	合計	2,505	合計	2,540
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
県支出金	補助率 16.6%	251	補助率 16.6%	269	補助率 16.6%	237	補助率 16.6%	243		
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
一般財源		2,330		2,503		2,268		2,297		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.5		0.4		0.5		0.5		
正職員人件費		4,400		3,480		4,350		4,350		
嘱託職員報酬額		0		0		0		0		
臨時職員賃金額		0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		6,981		6,252		6,855		6,890		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		6,981千円/件		6,252千円/件						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))					改善検討
	東日本大震災により多数の消防団員が死傷したことから、消防団充実強化法が制定され、消防団の装備の基準が改定されたことを受け、消防団の充実強化のため地方公共団体は必要な措置を講ずることが義務付けられたため。なお、基準により整備が求められている物品を優先的に新規配備及び老朽更新していく。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>					○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他								
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			参加・協働の程度・内容
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし								○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
環境への配慮	配慮の視点			取組む内容		実施した具体的な内容			環境への配慮
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし								○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	0	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	事業費削減率(%)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	
	1.6		単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2173), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2237), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and execution data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充) and a space for comments.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 2238 課コード 1003 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 消防体制の強化・充実, ②実施計画への位置づけ ●有 ○無, ③事業主体 ○市 ●その他 (柏市・我孫子市消防通信指令業務協議会), ④対象地区 ○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市, ⑤事業期間 ~, ⑥担当職員数 9人 (換算人数 6.12人), ⑦事業費 (人件費含む) 総事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 施策コード 70201, 重点プロジェクトへの位置づけ 重点なし

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性), (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性), (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり), (4) 環境に配慮して事業を進めているか?, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫をしているか?, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価 コメント 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2239), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main evaluation table (1-8) containing project overview, objectives, content, targets, implementation issues, and detailed financial breakdown by year (Heisei 31, Reiwa 2, 3, 4).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table (9-11) with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for current status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.